

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:令和元年度】

( ③駐車・駐輪施設 )

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川駅北第1自転車等駐車場、掛川駅北第2自転車等駐車場、掛川駅南自転車等		担当課名	産業労働政策課	記入者職氏名	永田雄哉
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市自転車等駐車場条例					
	(2)施設設置目的	掛川駅周辺における自転車等の利用者の利便性に資するとともに、自転車等の駐車秩序の確立を図るため。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	掛川駅北第1自転車等駐車場(鉄骨造2層式平置型) 自転車:1018台 原付:110台、掛川駅北第2自転車等駐車場(平面式平置型) 自転車:221台 原付:18台、掛川駅南自転車等駐車場(平面式平置型) 自転車:377台 原付:35台					
	(4)施設建設年度	昭和63年度					
	(5)耐震性能の有無	あり					
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)						
	(7)指定管理者名	かけがわ街づくり株式会社					
	(8)指定期間	平成 30年 4月 1日 から 令和 3年 3月 31日 まで					
	(9)債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 平成      年度～令和      年度) (限度額      千円)			
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(11)自主事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成      年度)				

区分		H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	525,000	528,000	528,000	528,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	508,028	509,912	532,593		
	内訳 (施設・設備ごと)	掛川駅北第1自転車等駐車場	293,938	293,970	317,711		
		掛川駅北第2自転車等駐車場	76,394	76,718	72,523		
		掛川駅南自転車等駐車場	137,696	139,224	142,359		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	駅北第1自転車等駐車場 定期 (定員 872台)	A平日昼間	78.0%	77.7%	85.9%	定員：定期 自転車 782台、原付 90台 計872台 年間利用者数：自転車 X台 原付 Y台 計(X+Y)台 (X+Y)台/(872台×12ヶ月)= %
B平日夜間							
C土日祝昼間							
D土日祝夜間							
駅北第1自転車等駐車場 当日 (定員 256台)		A平日昼間	48.5%	49.7%	47.2%		
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					
駅北第2自転車等駐車場 定期 (定員 239台)		A平日昼間	83.6%	71.7%	83.1%	定員：定期 自転車 221台、原付 18台 計239台 年間利用者数：自転車 X台 原付 Y台 計(X+Y)台 (X+Y)台/(239台×12ヶ月)= %	
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					

2 利用状況	(施設・設備ごと)	駅南自転車等 駐車場 定期 (定員 330台)	A平日昼間	94.2%	94.3%	96.9%	/	定員： 自転車299台、原付25台、自動二輪 6台 計330台 年間利用者数：自転車X台 原付Y台 自動二輪Z台 計(X+Y+Z)台 $(X+Y+Z)台/(330台 \times 12ヶ月) = \%$	
			B平日夜間						
			C土日祝昼間						
			D土日祝夜間						
		駅南自転車等 駐車場 当日 (定員 94台)	A平日昼間	70.3%	74.7%	74.7%	/		定員： 自転車78台、原付10台、自動二輪 6台 計94台 年間利用者数：自転車X台 原付Y台 自動二輪Z台 計(X+Y+Z)台 $(X+Y+Z)台/(94台 \times 365ヶ月) = \%$
			B平日夜間						
			C土日祝昼間						
			D土日祝夜間						
	(定員 人)	A平日昼間							
		B平日夜間							
		C土日祝昼間							
		D土日祝夜間							
区分			H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入		
	(2)利用者一人当たりの運営経費		50	44	41	/			
	(3)運営日数								
	(4)運営人員	①正規職員					※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。		
②臨時職員									

## II 施設管理に係るコスト情報

(単位：円、%)

区分		H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
	①人件費	4,355,812	6,099,990	3,901,528		
	②印刷費					
	③通信費					

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	1,253,210	781,364	1,670,925		
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	592,040	750,000	581,152		
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	19,200,538	14,845,043	15,610,473		シルバー委託料等
	計	25,401,600	22,476,397	21,764,078	0	
	対前年度増減率		△ 11.5	△ 3.2		
区分		H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	0	0	0	0	
	②修繕費	1,296,564	397,440	1,444,860		
	③光熱水費	1,102,136	1,233,114	1,225,800		
	④燃料費					
⑤清掃費						
⑥保守点検費						
⑦その他(施設消耗品)	7,747,488	7,747,488	7,747,488		精算機等リース料	
計	10,146,188	9,378,042	10,418,148	0		
対前年度増減率		△ 7.6	11.1			
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		35,547,788	31,854,439	32,182,226	0	
(4)合計のうち運営コストの割合		71.5	70.6	67.6		
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		30,191,400	30,296,800	31,539,460		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		118.9	134.8	144.9		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設使用料収入	30,191,400	30,296,800	31,539,460	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	25,401,600	22,476,397	21,764,078	
収支差額 a)－b)	4,789,800	7,820,403	9,775,382	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額( a)－トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

## IV 担当課による評価

## (1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

## (2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 &lt;達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点&gt;

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度			2	【達成できていない点・主な課題】 ・施設の老朽化が進んでいる。建て替えを検討する必要があるが、工事費は莫大である。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今後について、譲渡・統廃合等中期的な計画に基づいて実施していき
B サービス内容の満足度			3	
C 従業員対応の満足度	苦情件数 4件 未滿	1件	3	
D 施設安全対策の満足度	事故件数 2件 未滿	0件	3	
E 美観・清潔感の満足度			2	【達成できていない点・主な課題】 ・施設の老朽化が進んでいる。建て替えを検討する必要があるが、工事費は莫大である。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今後について、譲渡・統廃合等中期的な計画に基づいて実施していき
F 施設の利用者数	528,000人	532,593人	3	

\*協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・施設の老朽化が進んでいるため、万全とは言い難い。建て替えを検討する必要があるが、工事費は莫大である。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今後について、譲渡・統廃合等中期的な計画に基づいて実施していきたい。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

30

／ 33

V その他自由意見

--